

プログラム概要 (ウェブコース・ハンズオンコース共通, 動画コンテンツ)

<発展・中級共通>

- 木村淳先生特別講義
神経伝導検査を行うための考え方・ポイントについてデモを通じて解説する.

■

<中級コース>

- 上肢 Uncommon NCS 【逸見・山内 (孝)】
外側前腕皮神経, 内側前腕皮神経などの uncommon な上肢 NCS を自信をもって実施できるようにする.
- EDx approach case study 【廣田・児玉・村上・野寺・今井・小森】
講師がそれぞれ経験した症例を元に, 検査の計画, 解釈から治療へのプロセスを追体験して, 神経筋電気診断の考え方を習得する.
- 下肢 Uncommon NCS 【稲葉・平島】
伏在神経, 浅腓骨神経, 足底神経などの uncommon な下肢 NCS を自信をもって実施できるようにする.
- 針筋電図 【関口 (兼)・廣田】
被検筋ごとのピットフォールや特徴, 動員パターンの評価を学ぶ.
- SEP 【大石・神林】
機械設定, モンタージュ, きれいな波形の取り方の工夫など実際の測定の仕方を学ぶ.
- 神経筋超音波 【塚本・渡辺】
主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について学ぶ.

<発展コース>

- Stimulating SFEMG 【澁谷・関口 (緑)】
電気刺激を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ.
- 胸郭出口症候群 【斎藤】
胸郭出口症候群 (TOS) の概念は現在大きく揺れている. 真の神経性 TOS をはじめとして, その周辺疾患の診断と治療について学ぶ.
- Voluntary SFEMG 【有村 (公)・有村 (由)・中村】
随意収縮を用いた同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールを学ぶ.
- CTS 【正門】
手根管症候群などの絞扼性神経障害の臨床像と電気生理検査の選択及び解釈につき学ぶ.

- MUNE【阿部】
電気生理学的手法を用いて運動単位数の減少を捉え疾患の病態を理解する方法を学ぶ。
- 絞扼性神経障害/エコー【児玉・長谷川】
手根管症候群，肘部管症候群の臨床像を踏まえた上で診断法としての神経伝導検査と超音波所見について学ぶ。
- 神経筋接合部疾患【津田】
神経筋接合部の生理学と病態について学び，検査の基本原理を理解する。
- 近位筋針筋電図【黒川・阿部】
肩甲帯や傍脊柱筋など体幹に近い筋の手技と臨床的意義を理解する。
- 横隔神経【山内（理）・山本】
横隔神経伝導検査や横隔膜針筋電図検査のピットフォールや結果の解釈について学ぶ。
- 小径線維機能評価【村上】
主に痛みに関連する小径線維の評価法を学ぶ。-最小痛覚閾値法と皮膚生検について-

<ラウンドテーブル>

- ミオパチー【叶内】
ミオパチーの診察から診断までのアプローチと筋電図専門医の役割について議論する。
- 運動ニューロン疾患【清水】
ALSをはじめとした運動ニューロン疾患の診断方法，電気生理学的所見，鑑別診断を学ぶ。
- 糖尿病性ニューロパチー【馬場】
糖尿病性ニューロパチーが患者の生命予後に及ぼすインパクトと伝導検査による客観的重症度診断の手順について考える。
- 神経根症【齋藤】
神経根の解剖を理解し類似症状を呈する疾患との電気生理学的鑑別診断法を習得する。
- 脱髄性ニューロパチー【国分】
脱髄病理と神経伝導所見の関係，および伝導ブロックの成り立ちを理解する。
- 腕神経叢障害【園生】
腕神経叢の解剖と腕神経叢評価の検査手技について学ぶ。TN-TOS やそれ以外の腕神経叢障害への臨床応用について理解する。
- 神経筋接合部疾患【幸原】
神経筋接合部疾患の生理学的背景を理解しながらその評価法を学ぶ。
- 顔面神経障害【栢森】
動画で顔面神経の検査方法を供覧し，検査結果と解釈，リハビリテーションアプローチなど実際の患者の診かたについて学ぶ。

プログラム概要（ウェブコース・ハンズオンコース共通，オンラインライブコンテンツ）

■ パネルディスカッション【神経筋診断セミナー講師陣】

各動画コンテンツに関する受講者のみなさまからの質問を元に，質問事項に関連した講師陣が Zoom ウェビナー上でディスカッション，回答を行います。

実施予定日時と，回答する対象の動画コンテンツは下記の通りです：

①9/23 11:40- 9/23 午前分が対象です

※上肢 UncommonNCS， EDx approach case study，
stimulating SFEMG， voluntary SFEMG， 胸郭出口症候群

②9/24 11:40- 9/23 午後分， 9/24 午前分が対象です

※下肢 Uncommon NCS， CTS， MUNE， 針筋電図， EDx approach case study，
絞扼性神経障害/エコー， 近位筋針筋電図， 神経筋接合部疾患
木村淳先生講義

③9/24 15:20- 9/24 午後分が対象です

※SEP， 神経筋超音波， 横隔神経， 小径線維機能評価

◎ラウンドテーブル動画に対するご質問もお受けします。

動画コンテンツ視聴用ポータルサイト内にあるコメント欄に， 予め質問をご記入ください。ラウンドテーブル動画作成担当講師が参加するパネルディスカッション会（未定， 後日お知らせします） 内にて回答いたします。

■ 木村淳先生メモリアルセッション【神経筋診断セミナー講師陣】

9/23 15:20-（予定）

2022年3月3日にご逝去された，本セミナーおよび臨床神経生理学会のレジェンドである木村淳先生を偲び，本セミナーの沿革を振り返る特別企画です。受講者のみなさま，および現講師陣から寄せられた木村淳先生を偲ぶメッセージの供覧，セミナーの記念写真の供覧など，鋭意計画中です。

プログラム概要 (ハンズオンコース)

- ◇ 共通事項：プログラム1コマあたりの受講者は3~4人です。
- ◇ 各ハンズオンは、エキスパートの指導の下、受講者のみなさま同士が検者・被検者を交代して、お互いに手技を行っていただきます。

- SFEMG ハンズオン【澁谷・畑中 (東京会場)】【黒川・関口 (兼) (徳島会場)】
同芯針電極による単一線維針筋電図の検査手技とピットフォールについて、実技を通して学ぶ。
※東京会場澁谷講師・徳島会場関口講師の担当分は stimulating SFEMG, 東京会場畑中講師・徳島会場黒川講師の担当分は voluntary SFEMG を実習します。
※セミナー申し込み時にご希望を確認しますが、希望者多数の場合は先着順とさせていただきます。

- 神経筋超音波ハンズオン【渡辺・塚本 (東京会場)】【高松・山崎 (徳島会場)】
主な末梢神経・筋を超音波で同定するポイントと代表的疾患の特徴的な異常所見について、実技を通して学ぶ。

- Uncommon NCS ハンズオン【稲葉・平島 (東京会場)】【逸見・廣田 (徳島会場)】
外側前腕皮神経, 内側前腕皮神経などの uncommon な上肢 NCS, 伏在神経, 浅腓骨神経, 足底神経などの uncommon な下肢 NCS を, 実技を通して自信をもって実施できるようにする。

- ケーススタディ【野寺・今井 (東京会場)】【幸原・内藤 (徳島会場)】
講師がそれぞれ経験した症例を元に, 講師と受講者の相互コミュニケーションを通じて検査の計画, 解釈から治療へのプロセスを学び, 神経筋電気診断の総合的な考え方を習得する。
※徳島会場内藤講師担当分は, Zoom ミーティングを介して行います。徳島会場で用意するため, 受講者のみなさま各自でログインしていただく必要はございません。